

9月に入り過ごしやすい季節になりました。気候の変化も激しくなり台風、大雨、肌寒いなど安定しない状況が増え、毎日の気象情報から目が離せないこの頃です。

皆様お変わりはありませんか。平成27年度も半ばになり、学校は2学期が始まり各ご家庭でも忙しい日々を過ごされていることと思います。協会も新たな事業の取り組みにまい進しています。毎年参加していました舞鶴市「赤れんがフェスティバル」での市民団体の参加イベントは今年も行われず、MIAの取り組みは無くなりました。

現在、別のイベント実施に向け、関係者の活動が行われています。

<舞鶴国際交流協会の活動状況>

「外国料理」教室開催します

昨年まで文化交流部会が例年開催して参りました「外国料理教室」を、今年はボランティア部会が引き継いで開催します。今回は市民が参加し易い外国料理として「韓国料理教室」開催に向けて取り組んでいます。内容は次の通りです。

1. 開催日時 平成27年10月3日（土） 午前10時～午後2時
2. 場 所 中総合会館（都合により、「西総合会館」から変更させて頂きました。）
3. 参加人数 先着15名（スタッフは別枠）
4. 参加費 1,500円
5. 参加申込 MIA事務局（Tel：75-8801）
6. 料理内容 韓国料理：タッカルビ（鶏肉の甘辛鉄板焼き）、海鮮チヂミ
7. 講師 河本秀英（スヨン）先生

多文化共生サポータ養成講座開催（市主催） 受講者募集

舞鶴市在住の外国籍市民の皆さんの支援を目的に、舞鶴市では「多文化共生サポータ養成講座」をこの秋から開講します。現在、舞鶴市にはフィリピン、中国をはじめベトナムなどからの外国籍の方々が居住されています。舞鶴市ではこういう方々への生活支援事業として、市民対象に「多文化共生サポータ養成講座」を開催します。

目的は、外国籍の皆さんが市民生活の中で、日本人とのコミュニケーション（居住地域、学校等での日本人との意思疎通）、日本文化・習慣の理解、災害時の地域・市の避難対応、日本語習得などのサポートを受け、より安心・安全な生活ができるような社会環境を構築することにあります。この講座事業が、MIAへ市から事業委託されます。

今年度は4回の講座を通じて、外国人へのサポート活動を行ってみたいと思われる市民の皆様の参加を呼びかけて行く予定です。市は、今年度をスタートとして、次年度以降も養成講座、サポート活動を継続していく予定にあるそうです。受講者募集は10月1日発行の「広報まいづる」にて掲載され、申し込みはMIA事務局で受け付けます。ご希望の方は、「広報まいづる」をお読み下さい。

（本講座は、舞鶴市からの委託事業としてMIAが行います。）

1. 講座開催予定 第1回：平成27年11月29日（日）
14：00～16：00（約2時間）
第2回以降は、12月～2月に順次開催します。
2. 開催場所 西駅交流センター3階 会議室2（伊佐津）
3. 定 員 20名
4. 受講料 無料
5. 講座内容 外国人の生活の現状と課題、災害時の外国人支援、日本語を教える知識、外国人との交流等。本講座には外国人の皆さんにも参加いただき、受講者との意思疎通を図りながら講座内容を充実させていく予定です。

ホームページのリニューアル

ホームページを表記の通りリニューアルしました。インターネットでもスマホでも見れます。アドレスは次の通りです。ご覧下さい。
<http://www.npomia.com/>

第12回「まいてフェスタ」 11月8日（日）に開催！

第12回まいてフェスタ実行委員会で検討されていますが、今年の予定が決まりました。MIAも実行委員会に参加し、検討してきました。フェスタは下記の予定で開催されます。

1. 開催予定日 平成27年11月8日（日） 10:30 ~ 14:00
2. 場所 中総合会館
3. 開催テーマ 「輝く」
4. MIA実施イベント 韓国料理（4階料理教室）

ポーツマス英語研修と私の将来への挑戦！ 看護師として海外で働きたい！

日星高等学校 看護科5年過程3年生 福原 絵美子

平成23年度の英語研修に参加した福原さんから手記が寄せられました。研修以降、高等学校へ進学、以前から英語が話せるようになれば海外で働きたいと考えて、英語研修に参加し、海外でのボランティア活動や国際交流も行い、具体的な将来の目標に向かって挑戦されている姿を紹介します。

私は中学2年生の時に研修に参加しました。英語が得意ではなく流暢に話せるわけでもない私は、16名の参加者の中で最も英語が下手だったと思います。私は外国が好きで看護師にも興味があり、もし英語が話せるようになったら海外で働きたいと考えていました。研修中は日本との違いをたくさん発見し、充実した日々でした。ホームステイでは会話に時間がかかることはありましたが、一生懸命聞いたり話したりしてくれるホストファミリーのお陰で、楽しく過ごすことができました。

慣れないポーツマスでの生活で体調を崩し病院へ行ったこともありましたが、大事には至らず最後まで楽しく過ごすことができました。1週間で少しは上達したと思います。伝えたいという気持ちがあれば伝わるということも学びました。そしてイギリスと日本文化の違いを知り、日本が大好きになりました。

高校生になった私は、看護師になるという夢を叶えるために、看護科で一生懸命勉強しています。その中で一番心に残った活動は、フィリピンでの活動です。フィリピンでは多くの人が貧困と共に暮らしています。フィリピンで見たものは、日本では考えることのできないような生活でした。

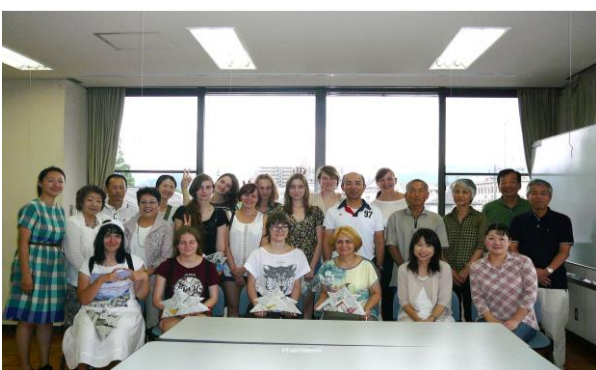
家はトタンや板で手作りしており、中は電気もなく真っ暗でした。また、小さな子供がキラキラした目で白く濁った水を飲んでいたのでした。

フィリピンで出会った人は皆、笑顔でした。物質的に豊かな日本と心が豊かなフィリピンは、どちらが幸せなのだろうと考えました。幸せとは誰かが決めるものではなく、自分が決めるものだと考えました。どんな状況でも、小さなことに目を向けるだけで幸せが見えてくるということを知りました。今年の5月には、国際ソロプチミスト主催のクラブユース・フォーラムに参加しました。”夢を実現しよう” - 女性と女兒に輝く未来を - というテーマで、私はフィリピンで見たこと、感じたこと、自分の夢を、論文に書いて発表やディスカッションを行いました。最優秀賞を取ることができ、7月末に大阪で開催されるユースフォーラムにも参加しました。

ポーツマスの研修に参加した時から看護師として海外で働きたいと考えていましたが、今も同じ夢を持ち続けています。3年前と違うことは、夢が具体的に実現に近づいていることです。世界では間違った知識や技術で失われる命がたくさんあります。正しい医療や看護を伝え、多くの命を救いたいです。夢の実現にはまだ時間はかかりますが、看護や英語の勉強を頑張り、強く優しい心を持ち、挑戦する気持ちを忘れず頑張りたいです。



ポーランドから若者がやってきた！



日本語を学ぶポーランド学生10名が、7月18日（土）、英会話教室の9名の受講生の皆さんと共に、西舞鶴の街を3時間ほど楽しみました。日本語と英語で。午後は、谷口信子さんの手ほどきで、「兜の折り紙体験」をしながら、日本茶も体験しました。その上に、谷口さんの知り合いの宮本金具店より立派な模擬刀2本、田辺城祭り実委会より鎧一式を借りて飾りました。ポーランド生徒達は大喜びで試着して写真を撮り、楽しい1日を過ごしました。会話教室の皆さん、谷口さん、宮本さん、田辺城実行委員会様、有難うございました。

特定非営利活動法人「舞鶴国際交流協会」
〒624-0853 京都府舞鶴市南田辺1番地
舞鶴西総合会館2階
TEL 0773(75)8801, FAX 0773(75)8802
Eメール:mianpo@globe.ocn.ne.jp